

ほけんだより

北海道教育大学附属函館幼稚園 2021年度 No.8

10月
ほけんもくひょう
目を大切にしよう

一日ごとに朝晩の気温差も大きくなり、少しずつ秋を感じるようになりました。暗くなるのも早くなりましたね…。

体調を崩しやすい時期になっています。寒くなると体温も下がり免疫力も低下していきます。おうちの方には、毎日の健康観察やマスク着用、本人及び同居者の発熱時の登園の見合わせなどへのご協力いただき感謝しています。体調不良の場合、受診で医師の診断があれば、登園は可能です。

判断が難しい場合は受診することをお勧めします。

保健室からのお知らせ
視力検査をおこないます！



今回は、はな組さん全員、つき組さんでは0.7以下、ゆき組で1.0以下だったお子さんを測定します。

希望があれば、誰でも測定可能ですので、声をかけてください。

★10月19日(火)

★10月20日(水)



みんな手あらいがとっても上手です！

「手のこう」や「指のあいだ」。「手首」など、慣れた感じでスムーズにあらっています!!

おうちでも上手な手あらいみせてあげてください。

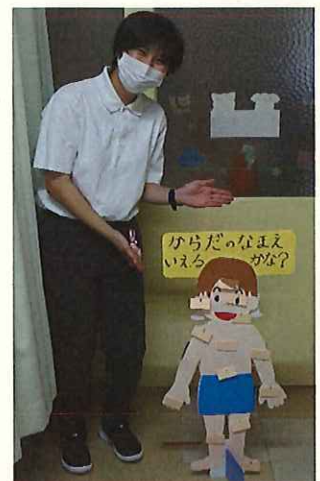


養護実習生(たしまあさみ せんせい、うばなつきせんせい)からのおくりもの

保健室の先生になるための実習をしていた2人の先生がすてきなプレゼントを残していってくれました。

たしま先生からは、ゆき組さんと一緒に勉強した「てをあらう6つのタイミング」についてわかりやすいイラストをゆき組さんの手あらい場につくってくれました。

うば先生からは、ケガや調子の悪い時、からだのどこが痛いのか、をお話できる「からだのなまえ」をはな組さんと同じくらいの大きさで作ってくれました。



目の病気

「ものもらい」

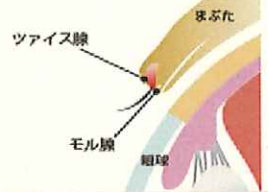


目の愛護デー



ばくりゅうしゅ 麦粒腫

まぶたにある腺に細菌が感染して化膿、炎症が起きます。まぶたのはれやまばたきの時の違和感があります。手当としては、細菌が原因なので、冷やすことでその活動をおさえることができます。



◆麦粒腫
おもに赤い。脂腺や汗腺に細菌感染が生じて起こる急性の化膿性炎症。

ぎんりゅうしゅ 霰粒腫

まぶたにある腺に脂が詰まってしまうことです。目を閉じてまぶたをそっとなでるとかたまりが指に触れます。手当としては、脂が詰まった状態なので、あたためて脂を溶けだすのを助けてあげます。



◆霰粒腫
おもに白い。マイボーム腺の開口部が炎症などで詰まることによって起こります。

この2つ、
どちらも
「ものもらい」
といいますが
原因も手当て
もちがいます!



どうぶつの「め」の位置



ライオンは、顔の前に
ついています



馬やウサギは顔の横に
ついています



目はものを見るためにあります。人間は
かおの前にふたつあります。動物によっ
ては、目のついている位置が違います。
どうしてでしょうか…?

人間の目はふたつ
正面を向いています!



ヒントは、食べ物にあります。

ライオンは、肉を食べる「肉食動物」なのでエサになる動物をつかまえるために目が前にあります。視力も人間の5倍もよく見えていて、1kmもはなれたものをみつけることもできます。

馬やウサギは、草を食べる「草食動物」です。ライオンなどにつかまらないよう、エサを食べている時も周りがよく見えるよう横についています。馬は、ほぼ360度自分の頭の後ろ以外は見えるといわれるくらいよく見えています。

人間の目は、二つの目でより立体的(形)に見たり、近いか、遠いかを判断することが得意です。

同じ見る役割の目も生活スタイルによって便利になっています。他にも色々な動物や昆虫の目を見てみてね!(かまきりとか…!(^_^)!)